

連携室だより



Japan Community Healthcare Organization SENDAI MINAMI Hospital



4月号 掲載内容

- 新年度 院長挨拶
- 認定看護師紹介
- 勉強会のお知らせ
- 外来受診のご案内

新年度 院長挨拶

皆さんこんにちは。

2026年は激動の年となりそうです。2月28日に米国とイスラエルが開始したイラン攻撃は約1か月経った今も終わりが見えない戦争となり、日本にとって重要な石油輸送ルートであるホルムズ海峡が事実上封鎖されております。原油の大部分を中東に依存している日本は最も大きな影響を受けるとされ、これまでにないほど危機的な経済的打撃に直面しております。おおよそ8か月分の石油備蓄があるとされておりますが、すでに政府は備蓄の放出を開始しております。しかし全く輸入ができないと国内の消費が賄えるのは4か月程度が限度と言われております。万一戦争が終結せず原油の輸入ができない状態が続けば日本経済は第三次石油ショックによる破綻に直面することになります。

医療面でも大きな制約を受けることになります。

まず電気、ガス、重油などの経費は高騰し医療機関の経営をひっ迫させます。またナフサの枯渇によって石油化学基礎製品が多い医療器材が作れなくなります。そうすると日常の医療活動は大変な混乱に陥ることでしょう。この戦争が早期に終息することを願うばかりですが、イランが長期のゲリラ戦に持ち込み原油市場を揺さぶるため海上輸送を脅かし続けるのではないかとの見方が高まっています。

厳しい経営環境にあります。職員一丸となってこの難局を乗り越え、これからも質の高い医療を安定して提供できるよう全力を尽くしてまいります。今後とも変わらぬご支援とご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。



朝倉 徹

感染管理特定認定看護師



伊藤 幸

2024年より感染管理を担当している、感染管理特定認定看護師の伊藤幸です。私が感染管理特定認定看護師を目指すきっかけとなったのは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大をうけ当院でも患者の受け入れを行ったことでした。今後も新興感染症の脅威に対応するためには、より専門的な知識と技術を修得し、継続して感染管理の担い手を育てていかなければならないと考えたからです。

感染管理特定認定看護師は、患者さんや家族、職員、その他病院を訪れる全ての人々を感染から守ることを役割としています。私は感染管理室で、院内及び院外



の感染に関する情報を把握し、院内に必要な様々な感染対策の推進を担い、医療の安全性や質の向上を図るため日々奮闘しています。



感染対策は手指衛生を基本とした標準予防策が大切です。標準予防策は、感染症の有無に関わらず全ての人に実施しなければなりません。春は新生活がスタートし、様々な環境の変化が起こります。新しい人との接触の機会も増え、気温の変化やストレスなどで免疫が落ち、様々な感染症に罹患した方が増えてくると思います。日常的に標準予防策を実施することが感染拡大を防止していく第一歩と言われていますが、感染対策は効果がすぐに見えにくく、日常業務の中で継続して取り組むことが難しい側面があります。だからこそ、安心、安全のために「自分の病院のこと」「自分の患者さんのこと」として捉え、日々の業務の中で意識的に実践していくことが大切だと考えています。



当院では、

『笑顔は広げよう 感染症は広げない』

をモットーに、全ての職員が当たり前、効果的な感染対策を実践できる病院を目指しています。もちろん感染対策は一人で実践するものではありません。感染対策は究極のチームワークと捉えて、院内に限らず様々な情報共有をしながら、近隣の医療機関や介護施設などとも連携していきたいと考えています。



感染管理特定認定看護師として未熟ではありますが、地域の感染対策にお役に立てるよう努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。感染対策に関する研修やご相談などございましたら、お気軽にお申し付けください。

= ICT(感染対策チーム) 会議・ラウンド風景 =



【 ICT(感染対策チーム)とは? 】

医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師など、多職種で構成される専門チームです。病院全体の感染状況を把握し、アウトブレイクを未然に防ぐために活動しています。

- ・院内ラウンド(巡回)
現場で正しい手洗い、消毒、ガウンの着脱ができているかチェックし、直接指導します。
- ・サーベイランス(監視)
どの病棟でどんな菌が検出されたかを日々データ化し、異常があれば即座に対応します。
- ・マニュアル作成・教育
最新のガイドラインに基づいた対策を全職員に浸透させます。
- ・抗菌薬適正使用の推進
薬への耐性を持つ「耐性菌」を増やさないよう、薬の使い方をチェックします。

今日からできる4つの習慣



マスクをしよう



うがいをしよう



手を洗おう



消毒しよう

新しい出会いが増える4月は人との交流とともに感染症のリスクも高まります。新型コロナやインフルエンザ、ノロウィルスなどの感染症から自分を守るために改めて「標準予防策」を習慣にしましょう。

「小さな心がけが、あなたと大切な人の健康を守ります」

褥瘡・NST勉強会を開催します！



2026年6月26日(金) 17:30~

(約1時間程度)

場所 3階 旧職員食堂

テーマ 「栄養管理の基本/補助食品の選び方」

講師 当院 管理栄養士 大場 元成

※参加ご希望の方は、別紙 同封の申込み用紙にてお申込みください。

診療科のご案内



※全ての診療科 午前診療

内科・循環器科・外科

曜日：月～金

新患受付 11:00 まで

呼吸器内科 (非常勤医師)

曜日：金のみ

新患受付 9:30 まで

※緊急のご相談は内科医師での対応となります

泌尿器科

曜日：月・(水)・(木)・金

新患受付 11:00 まで (木曜のみ 10:30 まで)

※水曜日:手術日・木曜日:制限あり

整形外科

曜日：月・火・水・金

新患受付 10:30 まで

要Check!

呼吸器内科・整形外科・泌尿器科のご相談・ご予約は、地域医療連携室へ診療報提供書のFAXをお願い致します。医師確認後、お返事させていただきます。

内科・循環器科・外科は予約なしで受診いただけますので、どうぞお気軽にご紹介ください。

いつも当院の「連携室だより」をご覧いただき、ありがとうございます。

ご紹介、お返事等のお問い合わせはお気軽に地域医療連携室へご連絡ください。

発行：独立行政法人 地域医療機能推進機構 仙台南病院 (JCHO 仙台南病院)

仙台市太白区中田町字前沖 143 番地 (代表) TEL 022-306-1711 FAX 022-306-1712

地域医療連携室 (直通) TEL 022-306-1740 FAX 022-306-1741

